

Cisco ASA ソフトウェアリリース 9.0

Cisco® ASA ソフトウェアは、Cisco ASA ファミリのセキュリティデバイスで使用されているコア オペレーティング システムです。エンタープライズクラスのファイアウォール機能および VPN 機能を提供するとともに、Cisco Intrusion Prevention System (IPS)、Cisco クラウド Web セキュリティ (旧称 : ScanSafe)、Cisco Identity Services Engine (ISE)、Cisco TrustSec との統合によって、進化しつづけるセキュリティニーズに対応する包括的なセキュリティソリューションを実現します。

15 年以上にわたってファイアウォールとネットワークセキュリティの分野をリードしてきた Cisco ASA ソフトウェアは、世界中で展開されている 100 万台以上のセキュリティアプライアンスで使用されています。同じコア ASA ソフトウェアによって、さまざまなフォームファクタがサポートされます。たとえば、さまざまなスタンドアロンアプライアンス、企業の既存のネットワーク インフラストラクチャに統合されるハードウェアブレード、パブリッククラウドとプライベートクラウドを保護して安全性を確保できるソフトウェアなどがサポートされます。

ASA ソフトウェアは、あらゆる規模の企業ネットワークを保護し、サービスプロバイダーのニーズに対応します。

クラスタ

Cisco ASA ソフトウェアリリース 9.0 では、最大 8 つの Cisco ASA 5580 または 5585-X 適応型セキュリティアプライアンス ファイアウォール モジュールを結合して単一のクラスタに参加させ、最大 128 Gbps の実効スループット (最大スループット 320 Gbps) と 5,000 万の同時接続を実現できます。クラスタに配置するとパフォーマンスが大幅に低下する競合製品とは異なり、ASA ソフトウェアのクラスタリング ソリューションは、クラスタ上のユニット数に関係なく、一貫したスケーリング係数を提供します。既存のレイヤ 2 およびレイヤ 3 ネットワークに中程度または高度な変更を必要とする競合プラットフォームでのクラスタリングとは異なり、ASA ソフトウェアは、既存の Cisco 仮想スイッチングシステム (VSS) および Cisco 仮想 PortChannel (VPC) ベースのデータセンター設計を使用して、標準の Link Aggregation Control Protocol (LACP) 上に構築されます。

高パフォーマンスのデータセンターを内部および外部の脅威から保護するために、8 つの IPS モジュールを追加して 8 ユニットのクラスタを強化し、最大 60 Gbps の IPS スループットを実現できます。

表 1. Cisco ASA クラスタのファイアウォール パフォーマンス データ¹

プラットフォーム	1 ユニット	2 ユニットクラスタ	4 ユニットクラスタ	8 ユニットクラスタ
Cisco ASA 5585X (SSP-10 搭載)	2 Gbps	3.2 Gbps	6.4 Gbps	12.8 Gbps
Cisco ASA 5585X (SSP-20 搭載)	5 Gbps	8 Gbps	16 Gbps	32 Gbps
Cisco ASA 5585X (SSP-40 搭載)	10 Gbps	16 Gbps	32 Gbps	64 Gbps
Cisco ASA 5585X (SSP-60 搭載)	20 Gbps	32 Gbps	64 Gbps	128 Gbps

¹ 注 : パフォーマンスデータは参考値としてのみ提供されています。実際の結果は、非対称トラフィックの量とパケットサイズによって異なります。

パフォーマンス上の利点に加えて、クラスタは、管理とトラブルシューティングが容易です。プライマリノードにプッシュされたポリシーはクラスタ内のすべてのユニットに複製され、クラスタ全体およびクラスタに含まれる各ユニットの正常性、パフォーマンス、およびキャパシティ統計情報を単一の管理コンソールから評価できます。

Cisco TrustSec® の統合

ASA ソフトウェアでは、アイデンティティベースのファイアウォールセキュリティと Cisco TrustSec® セキュリティグループタグの統合によってコンテキスト認識が提供され、可視性と制御が強化されます。アイデンティティベースのファイアウォールセキュリティによって、より柔軟なアクセス制御が可能になり、ユーザーおよびグループのアイデンティティとアクセスポイントに基づいてポリシーを適用できます。また、ポリシー設定も簡素化されます。管理者は、ビジネスルールに対応するポリシーを作成できるため、セキュリティが強化され、使いやすさが向上し、管理が必要なポリシーの数も少なくなります。同様に、Cisco TrustSec の統合により、管理者は、セキュリティグループタグをネットワークの Cisco DNA に組み込み、より優れた、きめ細かいポリシーを開発および適用できます。

クラウド Web セキュリティの統合

ASA ソフトウェアは Cisco Cloud Web セキュリティと統合されるため、企業では、一元化されたコンテンツセキュリティソリューションをローカライズされたネットワークセキュリティと組み合わせることができます。多くの競合製品で採用されているオールインワンアプローチとは異なり、Cisco ASA ソフトウェアで採用されているアーキテクチャアプローチでは、はるかに優れたパフォーマンスと有効性が実現されます。管理者は、ネットワークアドレス、Microsoft Active Directory のユーザー名やグループ名、または特定のセキュリティコンテキスト内に存在するホストに基づいて、トラフィックのサブセットに対してディープコンテンツスキャンを実行できます。その結果、ASA ソフトウェアでは、優れたパフォーマンスで妥協のないセキュリティが提供されます。

セキュアなリモートアクセス

ASA ソフトウェアは、Cisco AnyConnect® 3.1 以降と組み合わせて使用することにより、SSL トンネル内だけでなくパブリックインターフェイス上でも IPv4 と IPv6 のデュアルスタックを可能にします。IPv6 クライアントレスのサポートも提供されます。ほとんどの競合製品では、IPv4 トラフィックパターンから IPv6 トラフィックパターンに移行するとパフォーマンスが平均 80% 低下しますが、ASA ソフトウェアは、パフォーマンスへの影響が 15% 未満の IPv6 リモートアクセス接続をサポートしています。

ASA ソフトウェアは、包括的な次世代暗号化機能も提供します。これには、IPsec トンネルを使用したリモートアクセスおよびサイト間接続用の Suite B 暗号化標準が含まれます。

機能と利点

表 2. 機能と利点

機能	説明	主な利点	サポートされる ASA モデル
クラスタ	<p>複数のハードウェアアプライアンスで以下（最大値）を実現できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 128 Gbps の実効スループット 5,000 万の同時接続 	<ul style="list-style-type: none"> 線形の予測可能な拡張性とスループットの向上（たとえば、2 ユニットクラスタが 32 Gbps をサポートする場合、4 ユニットクラスタは同じトラフィックプロファイルに対して 64 Gbps をサポート） Cisco Application Security Device Manager (ASDM) の単一インスタンスを使用して、最大 8 ユニットのクラスタを設定およびモニター可能 クラスタメンバー全体での状態の同期。シングルポイント障害の排除 	ASA 5580 および ASA 5585-X アプライアンス
Cisco クラウド Web セキュリティ (ScanSafe) の統合	<p>Cisco クラウド Web セキュリティと統合することで、お客様が、Web セキュリティおよびマルウェア防御のために Web トラフィックをシスコの Web セキュリティクラウドにリダイレクトできるようになります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> チェックボックス セキュリティ製品とは異なり、この統合により、パフォーマンスとキャパシティの低下を最小限に抑えながら、包括的な Web セキュリティ (URL フィルタリング、Web アプリケーションの可視性と制御 (AVC)、およびマルウェア防御) を実現 ユーザー名、ユーザーグループ、送信元、または宛先に基づいた追加の分析のために、Web トラフィックを Cisco クラウド Web セキュリティタワーにリダイレクト可能 トラフィックのリダイレクションによるパフォーマンスの最適化を実現。お客様がトラフィックを次の 3 つの大きなカテゴリにセグメント化可能：本社または支社への VPN トラフィック、インターネットに直接送信される許可リストトラフィック、およびディープスキャン対象としてマークされた、Cisco クラウド Web セキュリティタワーへのトラフィック 	すべての ASA 5500 および 5500-X シリーズ アプライアンスと Cisco Catalyst 6500 シリーズ ASA サービスモジュール
TrustSec	<p>ASA ソフトウェアを Cisco TrustSec アーキテクチャに統合することで、ASA ソフトウェアの 5 タプルおよびアイデンティティベースのファイアウォールポリシー要素がセキュリティグループタグ (SGT) とセキュリティグループ名で強化されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティデバイスで、セキュリティグループタグ (SGT) を一貫した適用要素として使用可能 お客様が ASA ソフトウェアを使用して SGT に基づいたポリシーを作成および適用可能 エンドポイントでのポストチャまたはコンプライアンスの変更に基づいて ASA ソフトウェアが適切なポリシーアクション (アクセスの許可、拒否、制限など) を実行可能 	すべての ASA 5500 および 5500-X シリーズ アプライアンスと Cisco Catalyst 6500 シリーズ ASA サービスモジュール
次世代暗号化	<p>楕円曲線、SHA-2 (256、384、および 512 ビットのハッシュ) を含む Suite B 暗号化アルゴリズムセットをサポートします。また、IPSecv3 および拡張 IPSecv3 機能 (「ESPv3」と定義される) も含まれます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> NSA 認定の Suite B 暗号化仕様により、より小さなキーサイズで優れた機密性と完全性を実現 	ASA 5500-X シリーズ および ASA 5585-X アプライアンス
マルチコンテキストの機能拡張	<p>現在の ASA マルチコンテキスト機能が拡張され、サイト間 VPN およびダイナミック ルーティング プロトコルがサポートされます。ルーテッドモードとトランスペアレントモードが混在するマルチコンテキスト設定のサポートも追加されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各ファイアウォール コンテキストで、スタティックルート用とダイナミックルート用の独自のルーティングテーブルを維持可能 お客様がコンテキストごとにルーティングプロトコルを組み合わせて使用可能 IKEv1 と IKEv2 をサポート シングルモードのサイト間 VPN 機能を複数のモードで維持 システムコンテキストで柔軟な VPN リソース割り当てが可能 	すべての ASA 5500 および 5500-X アプライアンス (ASA 5505 を除く) と Cisco Catalyst 6500 シリーズ ASA サービスモジュール

機能	説明	主な利点	サポートされる ASA モデル
IPv6	IPv4/IPv6 混合展開で ASA を展開可能であり、お客様がこの差し迫った移行に備えることができます。	<ul style="list-style-type: none"> IPv4 から IPv6 に変換するための次のような重要な機能が提供され、お客様が IPv6 への移行を準備可能 <ul style="list-style-type: none"> ステートフル NAT64 および NAT66 DHCPv6 リレー、DNS64 IPv4 と IPv6 が混在する環境でのポリシー設定を簡素化する統合 ACL IPv4 トラフィックと比較して 15% 未満のパフォーマンス低下で IPv6 リモートアクセス接続を実現。対照的に、競合製品では、IPv4 トラフィックパターンから IPv6 トラフィックパターンに移行するとパフォーマンスが平均 80% 低下 	すべての ASA 5500 および 5500-X シリーズ アプライアンスと Cisco Catalyst 6500 シリーズ ASA サービスモジュール
Citrix とクライアントレス VPN の相互運用性	エンドユーザーがクライアントレスポータルを介して Citrix Xen インフラストラクチャにアクセスできるようになります。	<ul style="list-style-type: none"> お客様が、クライアントレスポータルを使用し、Web インターフェイスを介して XenDesktop および XenApp にアクセス可能 XenDesktop (5.0) と XenApp (6.0) のシングルサインオンのサポートを提供 Citrix Mobile Receiver を ASA から Xen インフラストラクチャに直接終端可能 	すべての ASA 5500 および 5500-X シリーズ アプライアンスと Cisco Catalyst 6500 シリーズ ASA サービスモジュール
クライアントレス VPN の機能拡張	自動サインオン設定用のテンプレートとツール Java ベースのファイルブラウザ Java プラグインのプロキシサポート	<ul style="list-style-type: none"> さまざまなアプリケーションによるシングルサインオン用に、クライアントレスポータルをより迅速かつ容易に設定可能 複数のアプリケーション向けにさまざまな標準化テンプレートを提供 お客様が、新しい Java ベースのファイルブラウザを使用して、クライアントレスポータルを介して共有ファイルにアクセス可能 エンドユーザーがプロキシサーバーの背後にいる場合でも、お客様が Java プラグインを使用して TCP/IP アプリケーションにアクセス可能 	すべての ASA 5500 および 5500-X シリーズ アプライアンスと Cisco Catalyst 6500 シリーズ ASA サービスモジュール

ソフトウェアのダウンロード

Cisco ASA ソフトウェアをダウンロードするには、[Cisco Software Center](#) にアクセスしてください。

サービスとサポート

シスコのサービスは、お客様のネットワーク投資を保護してネットワーク運用を最適化するだけでなく、ネットワーク インテリジェンスの強化や事業拡張に向けた新しいアプリケーションの導入準備という面でもサポートします。

サービスのライフサイクルの「運用」フェーズには、Cisco Security IntelliShield Alert Manager Service、Cisco SMARTnet[®]、Cisco Service Provider Base、および Cisco Services for IPS が含まれます。これらのサービスは、大企業、中堅・中小企業、およびサービスプロバイダーのお客様に適しています。

Cisco Security IntelliShield Alert Manager サービスは、脅威と脆弱性に関する、カスタマイズ可能な Web ベースのアラートサービスです。これにより企業は、自社の環境における潜在的な脆弱性に関して、正確で信頼できる情報に簡単かつタイムリーにアクセスできます。

Cisco Services for IPS は、IPS 機能を備えたモジュール、プラットフォーム、およびプラットフォームとモジュールのバンドルをサポートします。Cisco SMARTnet および Service Provider Base は、このファミリの他の製品をサポートしています。

さらに情報を得る

詳細については、以下のリンクを参照してください。

- Cisco ASA 5500 シリーズ適応型セキュリティアプライアンス :
https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/security/asa-firepower-services/index.html
- Cisco クラウド Web セキュリティ : <https://www.cisco.com/site/jp/ja/products/security/secure-web-appliance/index.html>
- Cisco TrustSec : https://www.cisco.com/c/ja_jp/solutions/enterprise-networks/trustsec/index.html
- Cisco AnyConnect セキュア モビリティ ソリューション [英語] :
<http://www.cisco.com/en/US/netsol/ns1049/index.html>
- Cisco Security Manager : https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/security/security-manager/index.html
- Cisco Adaptive Security Device Manager : https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/security/adaptive-security-device-manager/index.html
- シスコ セキュリティサービス [英語] :
http://www.cisco.com/en/US/products/svcs/ps2961/ps2952/serv_group_home.html
- Cisco ASA 5500 シリーズ適応型セキュリティアプライアンスのライセンス情報 :
https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/security/asa-5500-series-next-generation-firewalls/products-licensing-information-listing.html




米国本社
カリフォルニア州サンノゼ

アジア太平洋本社
シンガポール

ヨーロッパ本社
アムステルダム (オランダ)

シスコは世界各国に約 400 のオフィスを開設しています。オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/jp/go/offices) をご覧ください。

 Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)